

## 設立趣旨書

### 1. 趣旨

日本においては、世界に類を見ない長寿社会が出現し、まもなく 65 歳以上の高齢者が人口の 3 分の 1 以上を占めようとしている。そのような多くの高齢者や、社会的弱者と言われる障害者にとって、現在の社会が安心して住めるものであるのか、また、彼らにとって一番重要な生きがいのある社会であるのか、現実は大いに疑問のあるところである。

このような現状を改善していかなければならないが、その努力を単に行政に委ねては、きめの細かい本当に必要な身近な解決法というものが、なかなか現れてこない。「ガバメントからガバナンスへ」と言われているのは、まさにこのような現実を踏まえているのである。自分の身近な問題の解決は自分たちで行うというガバナンスの精神が、この高齢化社会においては必要となってくる。

しかしながら、上記のような認識を持って、何らかの行動をしたいと志す人がいても、掛け声だけでは、その貴重な意思を生かすことはできない。すなわち、そのような人々を受け入れ、組織的に行動してもらうためのしっかりとした社会的基盤すなわち「法人」格が必要となる。

本法人は、不特定多数の高齢者や障害者が地域において安全に安心して暮らせるために、そしてその他の住民と共に生きがいのある生活を送っていただくために、必要と思われる種々の事業を展開すると同時に、これからの人間の生存に関わる環境問題に関しても深く考察し、環境教育や関連する環境改善事業をも推進して行くものである。

### 2. 申請に至るまでの経過

本法人の前身となるボランティア拠点「環境と福祉の家」の活動は、平成 18 年 9 月に始まった。その活動は地域の社会福祉協議会とも協力し、高齢者宅の庭の草引き、垣根の剪定、病院や商業施設への送迎などに取り組んでいる。

また、同年 11 月には、同所で地域の集いの場、木曜喫茶「陽だまり」が始まった。これは、毎週木曜日に開かれ、名作映画鑑賞、パソコン喫茶、カラオケ喫茶、うたごえ喫茶、DVD 名曲鑑賞などの催しを開いており、毎週約 10 名のお年寄りが昼食も共にし、一日を楽しく過ごされている。この活動は学区社会福祉協議会の推薦を受け、平成 19 年度に大津市の助成金を得て、同協議会との共催で講演会を 3 回行った。また、平成 20 年 5 月には、大津市の広報誌「広報おおつ」にも紹介された。

これらの活動をよりスムーズに行なうためにも、また、この地域の地理的特性から特に要望の多い高齢者の移送サービスを行っていくのに必要な大津市福祉有償輸送運営協議会の承認を得るためにも、任意団体「比叡平・陽だまりの会」を NPO 法人化する申請を行うに至ったものである。

平成 21 年 4 月 3 0 日

比叡平・陽だまりの会  
設立代表者 大津市比叡平一丁目 17 番 10 号  
笈田 昭